

2024年度(令和6年度)学校推薦型選抜

小論文問題

芸術文化観光専門職大学
芸術文化・観光学部 芸術文化・観光学科

注意事項

1. 試験監督者の指示があるまでは、この問題冊子を開いてはいけません。
2. この問題冊子は表紙のほかに4ページあります。
3. 問題は1題3問あります。
4. 解答用紙が1枚、下書き用紙が1枚あります。
5. 試験監督者の指示に従い、黒のボールペン(消せるものは不可)で、氏名、受験番号を解答用紙のそれぞれ1か所の記入欄に記入しなさい。
6. 解答は解答用紙の所定の箇所に記入しなさい。解答用紙の裏面には記入してはいけません。
7. 解答用紙は横書きです。
8. 数字は1マスに1字ずつ記入しなさい。たとえば、「10」は2マスを使って記入します。
9. 試験時間は90分です。
10. 試験終了後、問題冊子と下書き用紙は持ち帰りなさい。

大規模地震の被害の大きさ、悲惨さ、教訓などを後世に伝える被災建物などの構造物を「震災遺構」という（『日本大百科全書』から）。東日本大震災の被災地である岩手、宮城、福島 の 3 県では、いまだに保存の是非が検討され続けていたり、既に取り壊されたりした建物も少なくない。

次の資料 A と B は、震災遺構や人の記憶について述べた文章である。資料を読んで、後の問い（問 1～3）に答えなさい。なお、出題の都合上、本文を改変したところがある。

資料 A

※著作権の関係により掲載できません。

（出典：朝日新聞デジタル 2015 年 11 月 6 日「(やっぺし)震災遺構「解体説明会」の前に」
URL:<https://xsearch.asahi.com/kiji/detail/?1697093804409>)

資料B

※著作権の関係により掲載できません。

※著作権の関係により掲載できません。

(出典: ながいれい永井玲衣「世界の適切な保存—誰かの記憶」『群像』2022年7月号)

問題

- 問1 資料 A について、町長が主張した震災遺構を解体する理由を 150～200 字で述べなさい。
- 問2 資料 B の下線部①の「記憶」と下線部②の「記憶」の特徴を対比させながら 150～200 字で述べなさい。
- 問3 観光客に対して震災の記憶を伝承するために、下線部②の「記憶」を保存するには、どのような工夫が考えられるか。資料 A と B をふまえて400～450字で述べなさい。